

# 会議録要旨

(1)会議の名称	第3回 芦原温泉駅周辺整備基本計画改定委員会
(2)開催日時	平成28年12月16日(金) 14:00～17:00
(3)開催場所	あわら市役所 301 会議室
(4)出席委員氏名	川上委員、藤澤委員、関委員、前田委員、大谷委員、 笹原委員、八木委員、佐藤委員、平井委員、川西委員、堀江委員、 村治委員、西村委員、猪嶋委員、松浦委員 15名
(5)欠席委員氏名	達川委員 1名
(6)会議議題	・新幹線駅舎デザインコンセプトの要望について ・東西自由通路及び駅前広場(西口、東口)について ・芦原温泉駅周辺将来デザイン市民当投票の結果について
(7)会議資料名称	芦原温泉駅デザインコンセプト 芦原温泉駅周辺将来デザイン市民投票採用提案 芦原温泉駅周辺整備基本計画(改定案)および追加資料
(8)会議の内容 の要旨	<p>(デザインコンセプトの要望について)</p> <p>委・トイレの「多目的利用を考慮」とは、どのような内容か 事・ユニバーサル機能にプラスして授乳を想定している 委・授乳は駅事務室内を利用してもらい、多目的トイレは車イス、男女別トイレが通常整備である。ユニバーサルデザインの観点で障害者の方や団体の方にヒアリングしているが、提案があれば設計に反映させたい 委・ラチ内のトイレは水を撒かないで掃除するタイプにしていきたい 委・高架下の利用想定は何か、また駅東市営駐車場から雨や雪にぬれないような通行方法の検討が必要である 事・改定案では駐輪場を想定しており、今後関係機関との協議を継続していきたい 委・ラチ外に休憩所や待合所があった方が便利である 委・朝6時から24時までの改札営業時間以外はシャッターを閉めており、その管理内で作るのがJRの基本的な考え方になる 事・JRの考えである時間内管理は認識している。利便性の配慮からラチ外への配置も要望させていただくが、管理上の問題は今後協議を行いたい 委・まちの正面は西口側であるため、イメージパースの作成を含めて新幹線駅が背を向くことにならないように配慮していただき、駅銘板は西口側、東口側の両側に付くように検討していただきたい 委・灰皿を無くすとポイ捨てが増えるため、金沢駅のような囲われた喫煙所の設置をお願いしたい 委・ラチ内や自由通路等で観光PR用のポスター掲示等が出来るようにしていただきたい</p>

	<p>(東西自由通路及び駅前広場(西口、東口)、芦原温泉駅周辺将来デザイン市民当投票の結果について)</p> <p>事・自由通路の幅員は予定している道路事業の採択条件の関係から 4.5m としている、4.5m以上とする場合は相応の根拠づけが必要となる</p> <p>委・自由通路の幅員は、観光PRなどに利用できるスペースを確保するためにもある程度の広さが必要である</p> <p>事・通路としては幅員 4.5mであるが、新幹線改札前では約 8mの幅を確保することが可能であり、在来線駅舎移設後も同様の扱いを想定している</p> <p>委・例えば6mの幅員を一貫して確保することはできないのか</p> <p>事・鉄道利用者数を踏まえると、通路機能としては幅員 4.5mで処理が可能であり、あとは予算との兼ね合いとなる</p> <p>委・観光PRなどのスペースについては、自由通路ありきではなく、まずはどこに配置するか議論が必要である</p> <p>委・観光地の玄関口としての芦原温泉駅の位置づけ、将来的な京阪神エリアとのつながりなどを踏まえると、ストックとしてある程度の幅員を確保しておくことが望ましい</p> <p>委・第3セクターによる過剰な投資は困難であるため、自由通路を一定の幅員で一貫して確保するのであれば、今整備した方が良い</p> <p>委・西口広場の拡張整備に伴い、商店街は駐車場が不足することを懸念しており、西口レイアウト1案の賑わい空間の一部を駐車場にできないか</p> <p>委・駅前広場内に商店街利用者のための駐車場を設けることは難しい、また、来訪者に与える印象を考えると一等地に駐車場を設けないほうが良い、さらに市民投票で選ばれたパースとの整合が図れない</p> <p>委・西口レイアウト1案を採用するのであれば、約 2,400 m<sup>2</sup>の賑わい空間をどう使うのかを真剣に考えなければならない</p> <p>委・西口レイアウトの評価において、景観や緑空間に関する評価が不十分であるため、もう一段詰めていただき改めて評価する必要がある</p> <p>委・長期的には、西口広場対面の街区再編も課題であり、西口広場内の賑わい空間の利活用がそのトリガーにならなくてはいけない</p> <p>委・賑わい空間、対面街区の再編を目指すのであれば西口レイアウト1案、交通機能をメインに考えるのであれば3案になると思われるが、将来を読み切れない部分へのフレキシブルな対応の可能性も踏まえて検討することが重要である</p> <p>委・商店街の発展のためには、駅周辺を訪れる動機づけが必要であり、そういった意味では賑わい空間が必要である</p>
--	--